

平成二十七年度学位記・修了証書授与式

式辞

本日ここに学位記を授与された皆さん、修了証書を授与された皆さん、まことにおめでとうございます。また、今日まで勉学を支援してこられたご両親、ご家族の方々のお喜びはいかばかりかとお推察いたします。また、ご多忙中にも関わらず、本日の式典にご臨席たまわりましたご来賓の皆様方にも厚くお礼申し上げます。

皆さんの学生生活はいかがでしたか。実力主義のもと、伝統的な進級制度をみごとに突破し、集大成として、内容の充実した卒業論文や修士論文、博士論文を書き上げて本日、晴れて卒業の日を迎えられました。本学の学位記・修了証書は、本当に実力をもった若者の証しであると世の中において認められています。今後、社会に出て、その期待に応える人生を歩んでください。皆さんの中には課外活動などにも積極的に取り組んだ方が多くおられます。特に優れた活動には学長表彰をしましたが、学業と課外活動を両立させた皆さんのその積極性は、私たち教職員にとっても誇りであります。

天然資源に乏しいわが国においては、卓越した科学技術と人材の優秀さこそが資源であり、優秀な理工系人材の育成こそが、わが国に求められています。

本学は創立以来百三十五年に亘り、大学の目的を「一般教養とと

もに、理学、薬学及び工学の原理及びその応用を教授研究し、人格高く、かつ、応用力に富む有為の人物を育成して、文化の進展に寄与することを目的とする」と定め、優秀な理工系人材を数多く輩出してきました。卒業生の方々は優秀な研究者・技術者として企業や研究機関で活躍するほか、官公庁を始め各方面でも活躍しています。特に中学・高校など教育界での東京理科大学への信頼は絶大なものがあります。

皆さんも本日、伝統ある本学を卒業し、社会に出て活躍されるわけですが、人類の繁栄のため、わが国の発展のために力を尽くしていただけるものと期待しております。特に、環境問題、少子高齢化問題、製造業をはじめとする日本経済の減速問題等々、直面する課題は山積していますが、これらの課題は皆さんが実力を遺憾なく発揮する好機でもあると考えます。

最近、私は科学技術の発展に大きな寄与をした偉人と言われている方々の伝記を読む機会を多く持つようになっています。私が感銘を受けた方々を紹介します。自ら作った望遠鏡で月を観測し、月の表面にクレーターがあることや木星に4つの衛星があること、さらに地動説に有利な証拠を発見したガリレオ・ガリレイ、万有引力の法則を唱え、更に微分積分学の発展に貢献したアイザック・ニュートン、電磁誘導を見出し、ローソクの科学の名著を残したマイケル・ファラデー、あるいは放射性物質ラジウムを見つけたマリー・キュリーなどの方々です。

とりわけ、基礎的な研究から人類の幸せに直接貢献する仕事を成し遂げたフランスのルイ・パスツールの生涯もすばらしいものです。パスツールは、生命は決して無から生まれるのではなく、細胞からしか生まれぬことを実験で証明し、また、狂犬病を始めとする、おそろしい病気をワクチンによって防ぐ方法を開発するなど、数多くの成果をあげています。

さて、私たちは昨年十月、大きな喜びに包まれました。皆様ご存知のとおり、本学大学院理学研究科を修了され、理学博士号も本学において取得された大村智先生がノーベル生理学・医学賞を受賞されました。これは、私立大学の修了生としては、日本で初の快挙です。先生はアフリカなどの熱帯地方に蔓延している河川盲目症（オシロセルカ症）の特効薬、イベルメクチンを発見・開発され、その業績が高く評価された結果の御受賞です。大村先生の栄誉を讃え、私どもは来たる四月二十五日に、特別栄誉博士号をお贈りすることにしております。また、大村先生からは本学に多額のご寄付をいただき、このご寄付を原資として「東京理科大学大村賞」を創設することといたしました。本日はのちほど博士後期課程修了生の中から最優秀者に対し、第一回の東京理科大学大村賞を授与させていただきます。

また、東京大学の梶田隆章先生も、素粒子ニュートリノが質量を持つことを発見し、ノーベル物理学賞を受賞されました。梶田先生は私どもの理工学部物理学科で十年以上にわたって授業をご担当

いただいております、今後も引き続き講義を担当していただく予定にな
っております。

ぜひ皆さんもこれら素晴らしい先生方にならって、人類の平和と
発展、健康の維持などに寄与できる仕事をしていただきたいと思います
っております。

わが東京理科大学では、三年前に開設した葛飾キャンパスもま
ます充実してきており、四月には新しく工学部情報工学科の新生
を迎えます。経営学部はビジネスエコノミクス学科を新設し、キャ
ンパスはこの春より、久喜から神楽坂の富士見に移転いたします。
そして今年開設五十周年を迎える野田キャンパスはリサーチパー
クとしての機能を一層充実していきます。もちろん教育、研究の
様々な面で改革を進めるとともに国際化も一層進める予定です。こ
のように、良心的科学者、技術者を養成し、優れた科学技術研究を
通して社会に貢献する大学として、ますます評価を高める努力をし
てまいります。どうか卒業後も折にふれて母校に思いを馳せ、温か
く母校の発展を見守ってください。大学在学中に築いた交友関係は
一生の宝となるものです。毎年秋に開催するホームカミングデーに
参加し、友人や恩師との旧交を温め、卒業生の絆を深める機会とし
て利用していただきたいと思えます。皆さんの社会でのご活躍と、
本学の進化が相俟って本学のブランド力がさらに高まり、それが皆
さんの更なる自信と誇りにつながるといふ相乗効果を期待してお
ります。

皆さんの中には大学院を修了される方も多くおられます。博士号を得られた方々、大変おめでとうございます。最高の学位を得られたことに自信をもって活躍してください。また修士号を取られ企業に就職される方々、本学には社会人課程博士の制度が整っています。会社での仕事を続けながら博士号を取得することができるようになります。博士課程の学生を対象とした授業料に相当する奨学金給付制度をこの四月からスタートさせますので、実質授業料を負担せずに課程博士として在学することができます。ぜひこの制度を活用してください。

最後に、皆さんに論語からのすばらしい言葉を贈ります。

之を知る者は、之を好む者に如かず。

之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。

皆さん、今後取り組まれることをまずは良く勉強し、次にその分野が好きになってください。そして楽しむという境地になってほしいものです。

之を知る者は、之を好む者に如かず。

之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。

人間の活力の源泉は心身ともに健康であることにあります。健康を保つためには、心身の休養をとるすべを心得ることが重要です。是非、健康には十分留意して活躍されることをお祈りして、卒業、修了のお祝いの言葉といたします。

平成二十八年三月十八日

東京理科大学長 藤嶋 昭